

## ■全体を通して

### 1、研修前について

- ・ 都：受講者募集時に、個別事例と同意書の準備の必要性を伝える。
- ・ 受講者：事例を提供していただく方へ【資料 1】等を使用し研修説明を行い同意（承諾）を得る。

### 2、事前課題について

- ・ 講義終了後に事前課題書式（参考：【資料 2】）を配布する。  
※【資料 2】は、現在の現任研修の事例共通書式を若干修正し、チームアプローチ部分に相当するエコマップやコミュニティワークの情報や自立支援協議会等への参加記録やインターバルにおいて、基幹相談支援センター等で受けた助言の内容を書き込めるようにしたもの。

### 3、インターバルについて

- ・ インターバルにおける課題は、事前課題書式に書き込む。
- ・ 演習 1 日目と 2 日目の間にインターバルを設け、全体として 1 回のみとする。
- ・ 協議会等への参加は、演習 3 日目の開始前までに行い事前課題書式に記入することとし、演習 2 日目と 3 日目の間のインターバル期間は設けない。

## ■演習について

### 1、演習 1 日目 個別支援検証

- ・ 1G×6人 1事例40分の事例検討を行う（概要説明5分/Q&A25分/持ち帰る課題確認10分）
- ・ 事例検の方法について、本人中心支援の場合 GSV は手立てを視点のため、野中式（アセスメント部分）を使いこれまでの支援できていないアセスメントを浮き彫りにしていく事を中心に行う。
- ・ 野中式については、慣れない方等を想定し、講義で構造化された形式でデモを行い、ポイントを押しさえることが必要。チーム、インフォーマル資源などを含む要素を入れる。

### 2、演習 2 日目 チームアプローチ

- ・ インターバル報告を演習 1 日目のグループで 10 分×6 人で行う。
- ・ チームアプローチについて講義及び事例選びのポイントの説明を行い、1 事例を選択する。
- ・ 選択された事例に対し、野中式アセスメントを行い、事例の掘り下げを行う。野中式では事例への支援に関与している支援メンバーに焦点をあてるよう促す。チームのストレングス・課題整理を行い、事例提供者に対し、事例（支援チーム）におけるアドバイス（理想のチームをイメージしたもの）を伝え、さらにチームをよくするための方策を検討し、最後に事例提供者から行動表明をしてもらう。

### 3、演習 3 日目 コミュニティワーク

- ・ 共通事例で現在の現任研修の形を使い、地域課題分析や地域計画づくりの考え方を確認する。
- ・ その上で、個別事例で使った事例で個人ワークを行い、地域課題分析や地域づくりの手立てを考えグループで共有する。

【資料1】

平成31年度 東京都相談支援従事者現任研修への事例提供のご協力お願い(案)

私、\_\_\_\_\_は、東京都が主催する、平成31年度東京都相談支援従事者現任研修を受講するにあたり、実習課題として、研修で定められた書式を作成し、実際に指定計画相談支援（指定障害児相談支援）において作成しているサービス等利用計画（障害児支援利用計画）を添付し、主催者に提出することが必要になりました。

この研修の修了は、相談支援専門員資格を更新するために必要不可欠なもので、提出する情報は、他の研修受講者にも配布し、相互に内容を検証し、支援の質の向上に役立てます。

実習課題の作成に際しては、住所や氏名・年齢はもちろんのこと、個人として特定できないように情報を匿名化します。また、提出・配布した資料は、研修終了後に全て回収し、この研修受講以外の目的で使用することはありません。

以上の内容にご理解をいただき、実習課題の作成について、事例提供にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、作成した内容について開示のご希望があった場合には、速やかに対応させていただきます。

説明日： 年 月 日

説明者：所属

\_\_\_\_\_  
氏名  
\_\_\_\_\_

事例提供にご理解・ご協力いただける場合は、下欄にご署名をお願いいたします。

平成31年度 相談支援従事者現任研修への事例提供に関する同意書

私は、上記内容について説明を受け、\_\_\_\_\_が、東京都が主催する、平成31年度相談支援従事者現任研修を受講するにあたり、実習課題作成において事例提供の協力をすることに同意します。

同意日： 年 月 日

事例提供協力者名

\_\_\_\_\_  
(代 筆)  
\_\_\_\_\_

【資料2】「事前課題シート(案)」

受講決定番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_ 事業所名： \_\_\_\_\_

H30年度のサービス等利用計画案作成件数(更新含む) ( ) 件

事例の情報

氏名(イニシャル・ニックネーム等)		性別	年齢(年代)
現住所地 区市町村	事例提供者と関わっている期間		
本人の希望	本人のストレングス(興味、才能、性格等)		
活用しているサービス等 (障害福祉サービス、手帳、年金、成年後見制度等)	家族構成・社会関係(エコマップで記入)		
生活歴／既往歴(概略)			
支援において感じた地域課題 1) 相談支援専門員及び相談支援事業所の課題  2) 支援チームの課題  3) 周囲の地域等環境の課題			

本人が生活する地域(区市町村)について

面積	地図
人口                      世帯数	
地域の特徴(産業、交通等)	

障害福祉サービスや医療等の状況

障害者福祉における区市町村の理念(障害者計画等)							
サービス名	事業所数	サービス名	事業所数	サービス名	事業所数	サービス名	事業所数
居宅介護		短期入所		自立生活援助		地域活動支援センター	
重度訪問介護		共同生活援助		就労移行支援		児童発達支援	
行動援護		施設入所支援		就労継続支援A型		放課後等デイサービス	
同行援護		自立訓練(宿泊型)		就労継続支援B型		特定相談支援	
移動支援		自立訓練(機能訓練)		就労定着支援		一般相談支援	
生活介護		自立訓練(生活訓練)		就労支援センター		障害児相談支援	
協議会の状況		基幹相談支援センターの状況			地域生活支援拠点の状況		
【協議会等参加記録(演習3までに協議会等に参加し、協議会等が果たしている役割や課題について記入)】							

【演習1を通じて明らかになった課題(演習1のグループワーク時に記入)】
【課題に対する取り組み】
<本人への働きかけ>
<関係者への働きかけ>
<基幹相談支援センター等から受けた助言>

## ■事前課題について

本演習では「あなたが担当した事例」への支援に対し、演習1日目は「本人の意思の尊重」、演習2日目は「チームアプローチ」、演習3日目は「コミュニティワーク」の視点で検証をします。

事前課題の書式は、それら演習で取り扱う基本情報となりますので、演習前に【】項目の網掛け欄は、演習開始後に記入をしてください。

### ・提出事例について

提出事例は、演習の目的を踏まえ以下の項目を満たす事例としてください。

- 1) 地域課題に直面している事例
- 2) 複数の障害福祉サービスをサービス等利用計画に記載している事例
- 3) 障害福祉サービス等（移動支援や地域活動支援センター等の地域生活支援事業、地域相談支援、医療のサービス、成年後見制度等権利擁護サービス、地域の生活資源や家族・友人等インフォーマルな社会資源等）をサービス等利用計画に記載している事例

### ・地図の作成について

書式内の地図は、事例の生活基盤を把握が目的です。区市町村の地形だけでなく、「所属相談支援事業所」や提出事例に関連の強い地域資源を描いてください。障害福祉関連の資源にかかわらず、交通機関、医療機関、店舗や娯楽施設等インフォーマルな資源も意識してください。

なお、描ききれない場合等、その地域のことが分かる資料を添付していただいても構いません。

### ・協議会等への参加について

演習3開始までに協議会へ参加し、その役割や課題について、考えたことを書式へ記入してください。

なお、協議会への参加が難しい場合は、任意の連絡会等への参加に替えていただいても差支えありませんが、区市町村が把握しているものに限定してください。

### ・演習1終了後の基幹相談支援センター等訪問について

演習1で提出事例を検証した結果明らかになった課題に対し、演習1終了後から演習2までのインターバルの間に、利用者や関係者に会う、基幹相談支援センター等へ出向き解決案について助言を受けるなどし、その内容を書式に記入してください。インターバルの期間が短いため、演習開始前、予め訪問先に、現任研修修了の要件として助言をもらうことが必須である旨を連絡し、訪問の了解をもらっておくようにしてください。

なお本研修では、基幹相談支援センター等とは、区市町村において相談支援専門員に対し助言指導等を行う機関のことを指し、基幹相談支援センターが設置されていない場合、区市町村がその役割を担っています。詳しくは区市町村へお問合せのうえご確認ください。